

「あまくさ宝島市場」を訪ねて

横浜市営地下鉄・立場駅を降りると、大きな店舗が目に見え、びんびんとくる。天草の農・海産加工品やかんきつ・野菜類などを販売する「あまくさ宝島市場」が入る、イトーヨーカドー立場店だ。同店は、年間に約350万人が来店し売り上げは約120億円。全国に180店を展開するイトーヨーカドーの中で、食品部門の売り上げが3本の指に入る店舗だ。このような絶大な集客能力を持つ店舗に出店する「あまくさ宝島市場」。市や農協、事業者などで組織する天草インショップ協議会が平成23年11月に設立。オープンして1年9カ月がたった同市場を取材した。

多くの買い物客でにぎわいを見せる

あまくさ宝島市場には、約10坪（約33㎡）の広さに常時300点を超える天草産品が並ぶ。取材を行ったのは8月8日。店頭には早くも新米がお目見えしていた。イトーヨーカドーは、毎月「8」の付く日が特売日。店内には特売

品などを買求める多くのお客さんで、にぎわっていた。オープンから現在までの状況について、店長の倉澤孝夫さんに話を聞いた。「レジを通過する人、つまり商品を購入いただいた人の数をもとにすると、昨年度はのべ約4万6千人、1日平均で約126人に来店いただいています。また、売り上げは店舗での売

り上げが約3、831万円、このほかに各種イベントに出店していきまして、その売り上げが約451万円となっております。」

来店者数や売り上げの推移については、「オープン当初に比べると、来店者数は減っています。ただ、売り上げは横ばいの状況です。1人当たりの購入金額が増えているということになりまして、固定客がついていると分析しています」と話す。



▲あまくさ晩柑を試食をする買い物客

野菜やかんきつ、米が人気商品

同市場の人気商品について、副店長の中村敏朗さん（有明町出身）は「野菜やかんきつ、水産加工品が人気です。『より安心して安全なもの』とお客さまが強く意識されている中で、天草の産品を選んでいたのだと思います」と話す。店内に設置されたテレビでは、店頭と並ぶ商品の生産者たちからのメッセージ映像を常時放映。生産者の顔が見えることで、お客さんの安心感もぐっと高まっているようだ。



▲スタッフの皆さん(右から2人目が倉澤店長、左端が中村副店長)

最後に、倉澤店長は「首都圏にお知り合いがいらっしゃれば、ぜひ当店のPRをよろしくお願いします。なお、出品者を随時募集中です。詳細はお尋ねください（本庁（別館）・産業政策課 ☎11111）」と、笑顔で話してくれた。

取材を終えて

同市場のように、特定の地域のみを産品を扱う店舗は、とても珍しい。年間を通して一定量の商品を取りそろえなければ、店舗の運営が難しいからだ。それだけ天草には特色ある産品が1年を通じて豊富にあり、そして首都圏に住む皆さんにこれらの産品を買ってもらう魅力がある、ということだ。

一方、同市場は飲食店へ天草産品を卸したり、百貨店の催事への出店、市出身者で組織する「ふるさと会」へ出向いて物販を実施したりするなど、店舗販売以外の活動も精力的に行っている。このような取り組みは、首都圏に同市場があるからこそできることだ。

「あまくさ宝島市場」がオープンして、11月で2年になる。同市場は、天草と首都圏を結ぶ架け橋として、重要な拠点であると感じた。

お客さんの声を聞きました！

野菜が新鮮ですし安心して購入しています！

いつも利用していますよ！

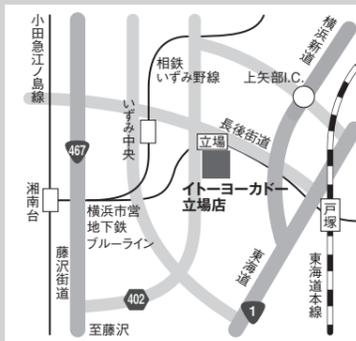
日本渡市出身です。皆さんお元気ですか？

週に2・3回は来店していますよ！

親戚などにも送っていますよ！



■店舗概要
【名称】 あまくさ宝島市場
【所在地】 イトーヨーカドー立場店 1階
 （神奈川県横浜市泉区中田西1-1-15）
 ※横浜市営地下鉄・立場駅から徒歩1分。
【営業日・時間】 年中無休・午前10時から午後10時まで。
 ただし、「8」の付く日は午前9時から。
【連絡先】 ☎045(443)5258・FAX045(443)5259
【ホームページ】 <http://amakusa-market.com>



あまくさ宝島市場 検索